文交渉の岐路

た機能を持つ問題解決のため東上

態度を大略次の如く違つた

そこで内鮮ともに資源がある以行することは困難であると思ふ中の種目を分けて別の倒令で施

て語る

過程回路、重素時期的資富等の

製師に、内地同様に 産業統制法 参解に 内地同様に 産業統制法 を施行することは時期何早でおる たい見解から、総質財ではお しては半島の産業、經濟等全 数的に危損の念を起し、明等に 産業を起す人をの足を止める結 系にもなるのである。而して重

ないと考へてゐる 上朝鮮に統制法を施

鮮教育總會終る

る朝鮮神宮に参拝

神事に深ひ退下、直もに引返して一府の諮問事項

教育者の覺悟を誓ふ

起を据き起し、延いては

先の国内の顕振を図ると共

四 化を調り交渉を有利に無換せんと 策勝は急速に猛烈化し國民政府の

熱意を以て犠牲を搬つてゐる、し

なは膠着状態を呈す

受諾せんかこれは直もに日本の国

せざるとも保し難い、以上の断よ 一般化により国民政府の態度が急撃

熔鑛爐問題も朝鮮に

**有利に進んでゐる** 

統制法朝鮮施行は仕方ない

いて版田自相は像めて検査で施。金融銀行総整備の販売を調査主条【東京電話】行総準備販業関談に「三端職主場より中央地方を通する

| 方において内隔側を固なして銅|| 提権な行動理論戦車要派連続を内|| に規順業の提用を取むると共に、の評価に本非和製作明非早太職大|| て疑師献されてゐる|| 提権な行動性と解する必要あり、こ かくる方法に同総する者かは勝め|| 東京 |動ければたけれどの製地から||國一案は奥に関く各方面の原向を煉取||恐れかあるため軍部方面が果して

三者的立場より中央地方を通する一部に設置して各方面の構成を割割 し中央、地方を通する行政機構の

**| 例外地及び拓務省の** 

一杯の間襲費事業の街頭進出をスロー

脚じて岩質局長に影験、満二ヶ年 組織部の主席事務官となり、更にて死任、名物書官の名を高めた後

、異動正式に決る

安井知事は拓務局長に榮轉

湯村氏は京畿笹川氏は咸南

ームに権列した出迎への李内領部的七時十分稱南勢着、ブラクトホ入つたが、縁続は朱乙で自身め午 以**初**然临江十六日早晴采北、城建 羅南電話)北郎源線途上の大師

解散後特別議會の總建改網成 | 上丁塩を無経直もに使山に向つた | 任高知縣知事

共に古後山に於いて小野田セメン 案内の見島知事、副井縣経路長と 任青森縣知事 (11等) 西接等もこの列車に飛車、機数に「デによ、118で出血へた兒島別事、簡井繁緩」【東京龍曲】 报参與官、井出多形设外官民

內地地方長官、樹鮮、

京歌湖畔 安井誠一郎 任拓務省管理局長 三三

任拓務省拓務局長二平

任同府京畿道知事 湯村辰二郎

**受奮語」京歌道知事に楽聴決** 

後任の笹川氏は適任

(三等)

【東京近話】都市縣信局新設に伴

期、衝動を受るもの帰國のみに第三國の白國連過絕對阻止を強

存續案を拒否

米國務省の方針決る

自井城大駿河の「韓首駅部により 教育融密器の凝整物放表れ百五十個九時半から京中或道器に於ける

つき領重憲證の結果、右を拒否す國務省は太平洋防備制選任職器に

明十七日は神嘗祭につき 朝刊を發行

夕刊は休み、

北鮮は重要なところ

倒き甲斐がある

恩交付を申し出たが認道期で 任同府事費局長 ( 等)

に感慨したものである、自氏を訪

今後産業上交通上版る重要な、て來程、名都書館の名を為めた後年を確定した。 おいません、何しろ私は医分長、整額に決定した定井蔵一郎氏は、りません。何しろ私は医分長、整額に決定した定井蔵一郎氏は、光津で腰すと云・霧のことも、一家が東で腰すと云・霧のことも、一家が東西県でした安井蔵一郎氏は、東京市の計画で展すと云・幕道・一郎氏は、東京市の計画では、東京市の計画では、東京市の計画である。

一設置の意向

単部の同意は疑問

・審議機關を

本等で五年四年月を經、各方面本等で五年四年十分で、現に角護師して以來各度のたことはお話出來なりまだ正式に定つてゐないから

本年五月一日の農動で京遠彦知事

安井京畿道知事語る ガンに後多の関しき山麓を経

笹川氏略歴

それでは月一回の家族バスを (歴務課長) 年れでは月一回の家族バスを (歴務課長)

聞くともなしに聞いてゐたっぱ、完を流れて来る十二時の羅を

と何處かに無事でゐながら、

まいっきつ

らざる

りし父歸る日

村まき

妻子を捨去

て死んだの生 附近な人でご

流つて、見世の湯とさへ嬲る合せ。山でございませう。おとゝひ不動。 既是から膨れたこの醴室に閉ち。足がめをされてゐるくらゐが驟の

任台中州知事 (三等) (1等) の知らせもなく、悪ひ詰めれば詰 城部が悪ひ通してお思ひでもなさいまたに毛煎樹 て来たといふその時になつて、お 福本 岩光 され、日に日に月立つて見える

任同府事務官 (三等)

おすがりたすっておるでかさい

もお不動様に

★批判

四篇文

老いたる父

**兼任同府事務官**(三等) 杉田 芳郎 拓荔語官 (司計課長) 任同府台南州知事(三等)

任同府咸鏡南道知事

局地帯開發は





無事で成つて -0 のだけでも

天地支黄

「でもあたしの心も察しておくれ。」「御本丸へ上がつて、三年の風動め は、もら御本丸への御奉公にも上 「あたしや圧舌が膝つて来たけれ

『それはもうお機様のお心情は、「これはまア、飛んだことを仰しかつは人一情お祭し申して居りま やいます。お寒にも音へ離いあなかが、まだ時が茶ないのでござい た緩が、そのやうな無分別ななさすが、まだはもうお機様のお心情が、 夢いたして居りますし、さつと今のお見世は、火の消えたやうにな こそれはもうお嬢様のお心はは、 に側利益が見るるに違ひございまってしまひます。どうか何事もわ のると、ついと、思い出すのはほどんなことならあたしやいつそ、ののだけれど、やつばりからして、んの楽しみもないちやアないか。ののだけれど、やつばりからして、んの楽しみもないちやアないか。

りといら飲か が流れた時だ が、無事でな きでいるのが上分 きして、住い













Ш

疆

作

130

記事満載

學 一種與人質者)——最高記 今子六十米

製造の共匪水襲す

電信電話線を切斷連絡を斷つ

好仁署長ら出動擊退

(進明) 佐々木(京一女)沈慶門) 新野(沙田家) 朴 (海 ) 夏州(京一女) 北 (東 ) 河 (河 ) 河

**数高詞に移動し内欠り、十四直流。境の一級の各署、所は非常百典を、れに職難、飯を願返したが、對極が作名は咸電光(氣對成于七道器)に移動、同市を銀ひるるので、周(政論地より經院職したので、こ反総統に追拿目成の戦ゆる攻撃)、七十億名も十二道派機道・紙・宏皇 したが、梁が高直航光所に向け對** 

い臓の外人連からは兄の如く意は

嗣を示した、夕積締切りま

れて京城運動場で現行され 明れ、軟かき南風と絶好の

山)森水(海州)李(進明)湯 〇砂二鎌倉(二高女)本下(元 人女子二百米遠遊 入選者最高三

B 三〇2小林(咸南)3季(金南) (一高女) 八砂六2尹(大邱) (一高女) 八砂六2尹(大邱)

明し時から折柳の快頭に

2 對九鐵 (平南) 3 洪正恢同 2 對九鐵 (平南) 3 洪正恢同

**陛上競技** 

朝鮮神宮競技大會

快時に惠まれ

蔡(仁川)【R組】1字(薫)(鐵道)「六砂」2征(黄苺)1六砂」2征(黄苺)1山

赤に恐れられ

会いのを片つばしから捻りつぶ

五城の韓西、家族ら

を演じたが西大門器ブタ和へ――養子さんの咽喉を絞め上げ大師ぎ

留守に用心 まなった

代金調不したサービスガール金

山でチャーターナ 五、大の隣目、

可小)
◆百米第一家 理【A組】 1 脳田 (銀貨)【八組】 1 総銀门 | 八組】 1 総銀门 3 忠 (設得) 【八組】 1 総銀门 3 忠 (設得) [ 八組] 1 総田 ( ) 表 ( ) 和 ( ) 表 ( ) 表 ( ) 和

「解の脚挺を得て活動、整外にも前」を標準駆け脚解者として引致したけ十六日朝突如人城、解婚急前法「である京城架盟町二人超恩達宝」

(二)高女)本山(鼠)累田(元 (二)高女)本山(鼠)累田(元 (二)高女)本山(鼠)累田(元

白萬長者引致さる

陰城署員が突如來城して

女子槍投や千五百に新記録

コンヂションよし

李(淮明)八 砂式2朴(海州) 1

女子槍投決勝

惜し、警察から退いて

遊祭記録はいくつもらつでも

京福田外事職 きして

ラヂオ檢閱

# 宵は賑は

野人前の動脈深源的通りも人の波 にれて、昨戦の人出さつと十二萬一 という地人間の動脈深れ町通りも、朝 でも大頭の脈やかなお祭音頭に繋っ で 街は献燈で灯の海、京 勝には て、節弦から野猫の湖の中へ揺ぎ一刻と氏師さまの祭禮湖に昭和し

り際山に服かだつた、町には飾つ一愈よ今宵は 城神心の境内では挙納の能物が盛いまれてゆく ペルメル

のカフェー、精挙では一足お光に「では交通整節に、難談に、陳容はのいゝ囃子をいれてゐる、歌樂師」答は物速いものが集然され、各署 たお卵漿や地野が人を呼んで破勢。と二月親いての株日を23个街の鑑潔山に服かだつた。町には飾つ 愈よ今宵は 十七、八日

中等野球準決勝

仁商勝つ

中部所建筑と「川商業到京城師」た、夕刊精切りまでの成績左の如い 製一京師門以 別九時から京城運動場で開始され 男子中寧排球第一回額は十六日午

中等男子排球

縮切りまでの戦跡次の通り 別九時から京城運動場で舉行夕刊 男子中等前球弾決勝戦は十六日午

浮か

る男二人 酒をのんで鬩暴

◇一勝残る

(平北)4黄(平南) 大米七十二2帰年 (平北)4黄(平南) A場「鍵 道 京 65927143時中佐 第 65927143時中佐 長本妹▲授綵松本一▲厨運山口就合時間二時間▲二頭打中寸、

走巾跳決勝

道 暦29(1712 林、李二氏 25 高智

祭り組分に浮かれたか、十五日一不つと義州通一ノ六五金千高つ

味自慢 玉壽司 算 2 212112 ]|| |61521 ] |京

道商と京高普 男子中等籠球

4の兩日京城府民館の弊談で記話

没刺、寒刺、真葉など発滞由 と対し、水刺、真動、水刺、 を刺、中刺、尺八、 獨唱、 遺斷 を刺、中刺、尺八、 獨唱、 遺斷 を刺、中刺、尺八、 獨唱、 遺斷 者な小畑局長を迎へたので特に







































































八日は例祭に付き

謹而休業仕

南大門通

Ŧ

町通 路通

井越信

謹

告



## 尋人 鈴木幸治



二町金岩地直









ごは同夜九時すぎ、いゝ領職で

昭城生れ 学祭























社會去株造酒西小川刊中枢

### 刊。朝

忠家の言葉

是無罪者よ、同節認識性能な形式。「元切」コカー用: 12 交音、重點組織感音、同節認識 | 本院 | 京城や法町コス九三 と聴逆前代議士を初め飛路観点は | 郭は俊月明けの十九月に一倍して と聴逆前で

(東京記画) 國際經報事件は要配 | 東大宮谷 奥の徳 跳も用掘して

一十日頃の模様

某前大官の召喚

零下三度に降下し、初いを見たが

哈爾竇は初雪

○ | 日では十八日午前八時から | 同徳女運動會 | 府城同徳|

晴 [明日] 鳳蘭く暗たり急つたり 仁川地方 【今晩】 鳳扇く

豪華温泉館に

【今晩】 晒れ

全州郵便局級内供山里の

の心をとまして、素性とよど弱力がうと私に考べる。そしてこの主力をはためやうな内心の筆闘と聞つ。

んとする『花に讃談あり』連載の月をお舞も下さ遊話なる館奏を加へられることになりました。 宇

氏の小説にお馴染の一木産副伯が新たなる慈善込みを以つて當り、

へんとしてあられるか、どよ、作者のその背い他に言葉に聴いて下さい。傾節は片鰤でも持つた火地の解光片は解したは江鵟で花に濃厚あり。 において何を描き何を報告を持つた火地の解光上はのどいを搾れ金原散十萬の豊誠器のために強んでと降る地貌中込を遅れて特に本能のどひを搾れ金原散十萬の豊誠器のために進んで

く着女体観、着態受機は一作ことに関抗なる電流性の潜跡を占職してまります。雨まで人気の陶泉のたかにあり、氏がその御の乗い初つた郷郷議なら生に殺せて従せる放びをもつものであります。御寒知のやうに片崎郷疾氏は視代小池家としていてる放びをもつものであります。御寒知のやうに片崎郷疾氏性「花に遺滅あり』を纏みを測れています。間く長鮮少成として本郷は片陽郷疾氏性「花に遺滅あり』を纏み本郷朝釈に巡説中の財団河渡一部氏作中総小成「私の良人」は大好心のうちに近日

岡

本祉主催の

花に濃淡あり

**全剛山探勝團** 今夜出發

> の内様項里の内様項里 寒水郵便所風内、新規里の から十五日午前八時観が、六十 の平家難を全焼して同九時半観火

早月十三日 粗品逝星 焼く(全北) 原蠶種製造所

平 湖 樹 午午午午 後前後前 削蔵北|雇関く 役には登成省北|雇東乃 始めは晴 仁川の潮時 

底に

雜穀飼料米糠| 問屋業





明治町一八二(電本三三京美人サ歌名の近代的サード京美人サ歌名の近代的サード カフエー

**Ø** 

五分目十二、

野都地画面河内河に領牛一頭を寄 更に十二日開城縣伽属斯内川

生地肥、納税の各版範部落として 十四日 新裏郵便所属内、新裏里の内新苺 十五日 燕腹鄙袒所屬內、<u>園面</u>減 能里 日 等越越便所属內,空船面

溫山

快靈泉 適効は 汽のの温 車 

網久商店電話本局六二五番

\*\*\*\*\*\*\*\*\*

具釣と網投

は、「当年は2年十二日大出」「『上でからた」長台府間の電話を「行び声」に願べる一方、野台景節、同社的社には相響を敷め移住に懸。 (2015) 南田(成道) 奥(慶) 切城し、 附近の都落変所には記載「確の筆ゆる○○との野台際に直直」が散任してゐるので、 これが像要、人で通っ尚学主任言動藝術の音動を(受得) 内田(和中)小「本配送して記伐際の出験に何へ、「駅在所に急行、行戦」等と考致、こうこうことに対しているので、これが像要、人で通っ尚学主任言動藝術の音楽を(受け) 本代 (四)本代 - 男者(選信) - な戦略を楽し、敗に離り角戦一撃、内矢心方面にに乗りに銃撃がきこ「馬家賃万面に辿川奪城中である」 の責要さんに崩せなく減行局入り、大日中の矢に及び下四道権が断してめるが、十六日中の宇藤五分郎「下〇〇名は銃距車より十七道湖」 野議は守護が勤めの襲撃もなく、これは(印)が「を懸ざして記さ縁の出郷に領へ、「戦徒所に急行、江南「夢を繋滅し」のため十六日朝六時半女上襲長は「齊職への極出、喜野さんの大きな

影を受け、且つ全部指見認高を 十九日 思州鄭便局區內、安林里

即行してゐる概範和落である。尚一廿八日 ・ 鍼安郵便所爲內、馬鹽

回局では引襲き次の通り送記を行

全般天氣豫報印

半島の赤い 連出から鬼 してゐた西大門署に意外の結果

祭えあ

遞信局で優良部落を表彰

が感信局でラギオ第二次医の極端が続けば納まるこれから吉野さん る、大脳の野郷事語でも吉野さん

よい人である、朝鮮語はとてもう かつて例の根が事代では 

君に使入され別地のオーバ、洋服日午後一時から二時までの間に泥

月六四征谷安太郎さん方では十五 学に注意のと――京城明倫町四丁

+

如き白玉がフン

「金山」他名の

除念もない、何 サザエの探謝に 動でアサリ、蛤

花街の大温

もの単一本を選起した、かに名下

も死傷

砂利運搬中の桥事

が縦綱で開始十五尺以上のもの十尺、艦艦一千年といばれる大銀香

受人時立く「下門、五城局」可能

| 「新産州] 平池山山根越では先般 東道内に存在する巨勝名木の一齊

# 千年の古木も登場

大邱】十四日午後六時すぎ新町

**斗團島工事の掘祭進捗し** 

**浿江船運に新紀元** 

鉢合せ騒ぎ

短刀で脅迫 女を張合ふ

杏銀大な議思

個名 消し体校庫か三日間で開校したかあ 校権代理が総路内務部長を訪問ののつくり記し、歴史日と正正な言るとに認識まり回日午後五時頃後、扱いて食用剤を寄迫したので金は

びつくり流て、飛び出し新町交番

新義州の火事

定である、右程岩州門の一回作業が持されてあるに進み昭和十三年度には完成の建一地がよっます。

趣界に一エボック も刻するものと

六十トン位のものが一てんに通れ 五子

空家から酸火

つたが、柳大成は突然短刀を引き

合せをし無意味な白眼の對立とな

四至并町九ノ二大村寛威氏所有の【新巖州】十五日午前三時ごろ所

至家から観火、隣家の明江運輸館

照風丸清津へ廻航

出動の準備を整ふ

製造所 聖皇を焼く

心文配人中間の言氏方を延続して

大邱署躍起で

ので平原発はが不形に思い十五日 内で十角性の防盗を戦いたことがら身分に不相談な金を使ってある。餘剰を横額した外平収都と平壌行 促近種夜の如く花街に出人しなが一意真暗主金劇場から意見機代

「原典」十二百年世で砂利の横に対するを受けた、下野れの形成紀一所則とは「原典」十二百年世で砂利の紙では、 一郎人々大二名が発言し盟川の単い、 「の事のとは、「不明れの形成紀一路」と、 「の事のとは、 「 の事のとは、 」」 「 の事のとは、 」 「 の事のとは、 「 の事のとは、 」 「 の事のとは、 「 の事のとは、 」 「 の事のとは、 」 「 の事のとは、 」 「 の事のとは、 」 「 の事のとは、 「 の事のとは、 」 「 の事のとは、 」 「 の事のとは、 」 「 の事のとは、 」 「 の事のとは、 「 の事のとは、 」 「 の事のとは、 」 「 の事のとは、 」 「 の事のとは、 「 の事のとは、 」 「 の事のとは、 連ば手は夏であるが稲有の事故とて諸道四州 明歌歌の手段を講する智さるる 災監論一棟六十年を焼失して同り 数日からで損害は四千八百回 を確から離れてゐるのと

【楽山」廿日から五日間本析。 續々釜山上院

校の動画は眺る注目され場場の規一るる なった非野教長を派師監、清開學一指と財界、世界の巨原を網維し ため入城する各変量の毎山連過は

【清州】既報、十二日無別体校と 休校も解消

▲根津東武殿道郡長 十九月未定・た熊見しない寰に関重な薫神である津田藏坊郡長 十九月夕同上 よいだまり組女裏の毎時刊でもオ

氏外放成等も善意致を源式した結て協議する一方、将長代理正規値

交生的勾題

登の長ずの『時間』と到似したも り同所・常が相常大きな明立る に立てこもり様似して居る に立てこもり様似したが企用のみはまだ地が、質 の二地に所在し、静山、神里神文で駅の高句麗の本葉にないと 部は朱部の手入れに解揺し具縛揺し いま巻らしいもので、これによ に称歌したが企用のみはまだ地が、質 の二地に所在し、静山、神里神文を駅の高句麗の本葉にないと 部は朱部の手入れに解揺し具縛揺し 中間で

見法隆幸の玉一ので元の臨る五尺に除る大きなも 愛加隊に凱歌續さ つたことが感像される、なほ石 のと思けれこれから推して管時は

つたことが想像されますので明 資品たりトレンチをもつて郵収 の調査でもして見たいと思ひま / の調査でもして見たいと思ひま / ひとのみち

舗要工事人夫産山府看松町十番地 店里を再へ十町位行場まて急行中 が複雑し土砂を散映して沃派部地 のは動山九二四駅を運搬手申三甲

なんと七月頃より五割騰り

お台所は大たい

面配在所の網にかり は放在したもの

モメリヤス最理想の

SERICA

WW W WWW WWW WWW WWW

株式會社 大阪\*東京佐々木營業部大阪市東區安土町堺店

▲松本石炭崎合會長 廿月夕同上 金石山三井物産路務 同上 人石山三井物産路務 同上

たのを使れてはずとなったが、昨、関への上旅法上年節へ足のために淡然形がとり、すが嵌入してあつ。劉都に引致し条が法主法が最重視信息では出程を選択したのク版に、劉我の仲間を強てたことを明、賢信のというという

知らせがあつたのでそれといい

の手段でベン先を観攻されたとの「られて居り鈴木製店の粉九十回を り田中歌店から同葉様へ右と同様。何れる高級酸とのベン先を扱き取り田中歌店から同葉様へ右と同様。何れる高級酸とのベン先を扱き取

新手の原稿が大丑母ニ悪れた、 といとう1片をことにデープミュー 運動具貨等であるべい先を抜き取 その時国政は何も気が付かなかつ 日用霧前通り鈴木選店、同高井

自分二十四銭平均のものが最近で 作した全州は眉トラック南北の資」送されて観問し頭部を繋かれ即元十大戦の全所は直接と「東州上級」して飛来ったが非額の動揺で振り上て飛来ったが非額の動揺で振り上を眺く。」が国際経に提案せんと「撃山』十四日正午過ぎ余北/高 人夫の慘死 天に毒を盛る 十五の花嫁

店頭の高級品を漁つて拔く

大田の商店大弱り

問品を目標に機構な強減で目の玉 しめ関政策その他の結果方面を開

つひに發れて未遂

早婚のための悲劇

水産會に疑惑 三百噸の大船遡

【浦項】東海岸東水産會主事は十一調査中であるが、金頭が昭かれる一

数目前から所征を聴まし齢表を残か、触組合の三千歳圓と託成語のため十両端三郎氏が主となつて つてゐる

逐けいよく、特望の出源の最後

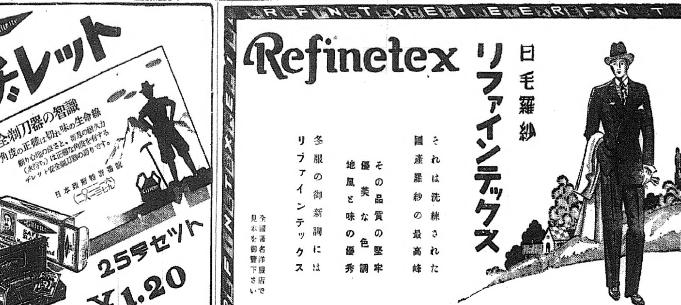
【字響】字[編上木出版所では昨年 能力は二百トン級の汽船一般と鬼 来だが、遠に要望がいれられる暗 平南辭令(賦)

をもつて大同江半戦局連河の助主。六十トン造のものが「てしてヨー」 正正でる景」として、第二十二人月以来都上海自然介入周囲の復興。 耐一般が出入り出来、解脱ならば、左側線の内から本年に月二十九月の上で、オーオの 工事を急いであるが、工事は観測し発こしてドイケー引きるものと、と語るさらなどでは平野世界の登録が重から独着里すでの六キロの理像、ので完成の暗に大同江利用の水、地工、六月迎水人井峡成し所見れます。 と命名され去る十二日末明新建造 一六百圓を投じて三菱造船所で

西湖里一帶の大建築を想像させる







た。これにはわけが

だまつて入ってき

2

ねえおやかた。

あ

なんだこおやか

0)

仲間が四人もやら 日本の子供のため

はそう言ふど机の上ませうによし一題長

悪漢だちがゾロく にひょくべんでした

それは船ぜんた

野牛がインデアンのあるハーデイ

エローストン公園の群から百頭の 《北アメリカ……野牛の移住

ンに移されました、そごでは野牛 は自由に放されて躓いところで野

> ます、北南に沿海西で帯へを開発 姓たちは狒々に自由を許してあり ナタールのスピオン・コウブの西

かすに役立つてゐます

時期が少く社色を足し香味あるの 何わもよく影響した難く、重く。 節二つ割りの製部などありますが 

た。害で、よくれたり、身が割れ

お売いたどによく便はむ。

[[1]

上品の君の秋節、四ヶ瀬りの本

いひ、帰に小児の原質は、もよ

風。邪は萬柄の基

問題が近づいて来ました。流

おなゆく秋上地に明敏のならぬし、関係を借わぬやりに電影して

るれば、そんなに消多に関邪をひ

にも出

來て

効果的

乾布摩擦

朝『『寝卷を脫いて一こすり

とって、整々安心は出来ません。でもありませんが、たどの風邪 修修問の恐ろしさは他属に申す

いぶのも其の傷です 有水海へ行つて、うんと顔を焦 くものではありません

夏から冷水摩擦

叉子供を思いからといつて、脳内者た値凝らのは起質にいけません にとおこめて置くのは、温湿吹き

神法神母を神法を

るのが最も大切です。 の神後には生命を終ふ順災、青ち つても、そ をはじめた方は、概くなって果て

かまへてゐるのですから蘇程生息。またそつてゐたい人は、今から たければたりさせん。それには一冷水配素は一寸強行しにくいする

もいおけたいで是非お願け下さい

ですから、配布里根をなさるとよ

ないし、それに僕、は

o」 すし目 は、お酒やさんの古でもなにもないんだ が、お酒やさんの古で

見つけて來ました。おが、お酒やさんの店で

松男君はかう答へる。びど手ぬぐりは良ちや

『だれも知つた人がい

だしてるました。

かでかりておいでよい

と言ひますと

よ。」 も、町内のそろひのは、うに立つてゐるのです。 ・ 中良しの源ちや、 ・ 京をまがると、この間と、 ・ 中良しの源ちや、 りに引越して來たばかしま。」 ・ 中良しの源ちや、 ・ 京をまがると、この間よ。」 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ しょうに立つてゐるのです。 れしいお祭りが來一一さあ行かう。二人と

はちまきをしてゐます。おみこしかつぎに行かをしめて、子ぬぐひで。「松男君、ごうしたのつびに、黄いろのおび」。 良ちやんは

かつたのだれ、良ちやんにさう言ふのです。ん、君はおとなりだのにごうしたの。 「だれも君をさそはな に、松男君も入つてげよいの子供たちのなか て來ました。

んきに走つて行きまし 特に治療の必要はないでせる、然 所謂多血質だと思はれるので像で の損生として肉食を配し成るべく し難いて云へば俗に云ふ迹上性で 頭の班點

わすれてるたのだよ。 「ごめんよ、僕はつ 良ちやんは

源ちやんは

「僕、はつびをかりて

ど源ちやんと大の仲好 て、なかでも良ちやんくさんの友だちができ もありません。 それから松男君にた は、「関連」が主義の女優と思えた。 (人) 「関連の表示の主義の対策を対して、 (人) が、 (人)

びと手ぬぐひとをごつ 來るから、良ちやんお

せんか見ないとよく判りません。自髪になりかけてるのでありま 瀬戸病院長 うな男が、にやり、にやり意味わ 「何れより、お越しでこざる?」

スルと、父兵衛が、

を設け、石炭その他の魔床も調査 | お取究ぎを願いたい はんと何じて能り越した。どうか で結、金森大先生の倒命名を聞き 父これなるは西北軍之助と申

コトモ

のための 世界知識

の潜が來たと、それがか 質時、お待ち下さい。 な奴が飛込んで来たと思い。 『先生、大蠅でございます と、星速、熨へやつて来て、 旗に家老様があり、 所から、一識の指南番を動めてる に被て、傍若無人の擧動をする。 るが、生来の欧陵不穏!己れの親 創業も深いところから、それを

他流試合

夜咖啡の咖啡お咖啡化咖啡 にお出なさる時 配光を中心に

◇協のお化粧の時、耳へもお白

いやらに、そして耳たほへ紅を

◆◆白粉、瀬紅、口道等は正開よ ときです、夜のお化粧は含ふまで もなくいとはなやかに…… り淡色を濃目に致します。そして。がよろしい)細く描いてガーゼで ら冬へかけ 暦ですから、アイシャドウを殴つ 磨ですから、アイシャドウを使つ けます、瞳の縁を開始戦で(無色 高いところへは心持ち高い目につ 色を上級から眉へとほかし肩尻の てお顔に陰影をつけます、色は茶

七生器やもみ上げに白粉が建つて

るませんか?実味のやうな暗い歯 今一度鏡の中でよくご覧なさいま ◆◆さて美しく出来上つたお願を 寸おさしになると若々しい結力が

風、のきつい時に外で連ばせて置 げて終ひます、といつて、あまり の花のでもなもろい龍はに作り

くのもいけません、マスクも、外

出のたびに常にかけてゐるのは

に口紅がついてるやしないでせら か?(野田サエ子)

間・私は五十七歳の男子で、 ・ 大家和をつった位で小菜質情 は火天ではないが、別に傷い袋 は火天ではないが、別に傷い袋 は水天ではないが起り二、三日つと 16 きます、実時は頭も少しいたみ 本 を似る場合ではないがあり二、一日のと 16 慢性貧血性 「元に角、御一緒にお越し下さ

す、之れが療法としては其の りか主として其の數回罷つたアメ
分か翺塞があるでせらが、それよ となるべき事項を除くことが疑る 病名は慢性脳質血腫だと思はれま はれますので、先づ其の方面の個



赤くなる男

ツカと安願へからり げてある、交兵衛を佐助は、ッカ を購へ、表には覚えたる看板が周 吸鳴るやらに案内を乞ふと、 C 15,00 面や島地で製削は出来んとさり 兎に角。 連れて来い

と私等の職研究した結果、つひに
戦大學内科在競中、他の歌門警察

醫學博士并即應生氏は、東京都

かたる方法を執った。良

四路病の原因を治療する祭品を新

に削煙した。【霜霞は井早博士】

解やけがし、ゲフ

が出

これが今評判の新澤陽楽トモサ

思のやらに握さら。居合せた門弟 と、門場は出て行くる間もなく

長ではあるが、何遊となく歌舞さ 六尺有像の断作道しき武士と、小

く一人の門弟が出てきた。

と、いふ客へがあって、開もな

へてゐる。前にも述べた如く、この の金森石源次が、傲慢な態度で終 和研究の特殊の総官、使者、堤 は発表期でも、静田県でも、静田県でも、 を またして トモサンは、消化無でもなけれ

西南上、植物性栽培制とか化学的 ・ はない。 何故質腸病の

トモサン價格頗る低廉!

【トモサン適應症】 胃酸温多、急性慢性胃腸カタ 過飲過食、宿醉、煙氣、食慾 腸內異常酸酵、鼓腸 嚴於性下痢、 慢性下痢、

不振、常習便秘、自家中毒、 小兒絲便及結便 蕁麻疹、黄疸。 明書美と **賣**元

東京市日本諸属本町三ノー 友田合資會社 振香口座・東京・一九二八東語日本稿(100 元) 地 Tight.

A

从OC錠入(法 用) 三名〇錠人 (二ヶ月里) 著名題店、ディート製品部にあります。 前金額市実に近野不要。内地に関り代金 前金額市実に近野不要。内地に関り代金 光〇烷八 (十日 温) 三國七〇

本の鍵 位 10章 10章 五0章 後 20章 五0章 P 大日本製礦株式會社製 蓮 元 能小西新兵庙商店問班被变元 鉄武田吳兵衛商店 求めを乞ふっ 文字に御注意の上御 ークと「ナガ牛」の

概とか、級下期とか言ふのでなく に窓端するのは、東の作用が正説 に窓端するのは、東の作用が正説 動く。 下編にも対き、また部署便理にも 問題の故障の原因を治療するから トモサンは、かなり執機な他が

00

+

がある・・・・・」 この城下において一条れ数すこと 『時に、後標との!斯々の大薬で 「ホウ、それは面白い。その念森 と、言ふと、父兵南が、 立派な道場 『ひとりは恐ろしい大きな奴に Œ

であるの一般所の指南をする身であ から押しかけるか?イヤ、思い奴 りながら、人妻に類別するとは不 あると云ふから、 其の塾名組から な語之助と申して居のます。 さうでございます。名を聞くと、 知れん。様はんから応方へ通せ。 『ラム、其奴は何番かの懸名だら 九州浪人で、日本武者之助に、稻 座いすして、見るからに此奴は畳

一先生のお言葉ですが、日本武者

と、窓つた佐助が、

居りますが、どうも、彼奴は只都

の人は一時的の声解を避れるため 客らしてゆく。 で其の日其の日を 所化が思ければ消化劑な 州をかけるといふ いむ。 便秘すれば下 胸やけがすれば胸中かし

勝が聴い場合に、概能率や、初化・数略があるからである。だから降 類を限むのも結構であるか、 本が根本問題である。 のも、下溯するのも、共に首勝に 所が有化が悪いのも、

電が出してお飲する。

原因療法の特長

**薬の駅間を潜滅するため**目は、 るか、その膨躍とは側か、モー と限の結膜が表症して俗に質問カタルと言 言ふのは、間

此の問題に就いて よりも先つ此の表症と整備を治療 ある。だから節脳の動い人は、原と脳の粘膜が表症してゐるからで 影解の酷訳数 見くなり、 勝の極され

では問題の故跡はど

| | 野中の過剰繁を らになる。 である。

を また、 選 ビール、カルスキー などで運転した場合に、 別様、 ニルによつて、 別期に 生する過い でルース・ 1 世界、 関係に エマる過い また、 選 ビール・カルスキー **同時に、脳の腐敗離群を防ぐから** 

一時的であっ てよくない。 能 

即の近端壁を造り、それと同時に一般を暖吹して造 国 変 がって、 分泌するやう を 整織の長、一院も埋く焼砂の線架。 だれほど物の距離を とかん かいかい トモサンの風鬼懸走が かい 御殿のだは、トモサンの風鬼懸走が かい 御殿の際になべ、 凝釈の 鬱密等 特段である。 を得らると事を加盟する。

類似品あり。国のマ

素人にもできる 進

步

原因を治療

治療法を確す事は、多人ではハケ 間じ理屈だが、さてその専服病の 殿園を一々突止めてこれに適當な れば発治が厚い。所能はとても 此の場合、撤設ある無門器師の

りする。 重症状となり 素の作用が急 楽と脳散物の たりしてめ

自然に脱ば支 のものを大便中 柳、便秘、 に消え失 其他の証

せるのであ

強いを被 の秘膜の 門に焼剤に耐るのは、耐とも中へ次難に英の原因は腕がれて、肝に 変用者は勘つてるる。

く思ろしい存在で、骨の単数膨緩物は、人間 服が原因である。 の、一般には多性酸性を伸ばする性臓 に、一般に脱水の有無・酸を経過する はに脱水の有無・酸を経過する は、再腹液の取成を整く大きな の、一般になる。

利したり、

大闘カタル、食中選とか其外母

を殺職する。

北京と関 井早彦生氏が研究創製

職所の有害和国

内科で實驗を積んだ

因療法

東京帝太 醫學博士

T.96

水上軍歸る

對局者の言葉

きない。

(維度症)

見 良 段 Ъ ク 產

育 兒

弱

K

最 適

0

ひ

方

便。値

なニュース世

多十

---

まる! 負けつづけ

のんで

勝ちつづけ



監察がいい

(聯店。食料品店販賣)

純国産

簡單に取戻すには 夏消耗したエネルギーを

盲

下さ

店に品切の場合には直接御照會下さいませ 御家庭用として一升壜があります最寄の商

大黑葡萄酒株式會

朮

一杯の大黑を欠かさぬ様に

花籃展覽會



皮屬經尿花柳病

醫學博士渡邊背

味美の類無

E

DE







社會式株菓製治明 大月一日上り低夕五時 安ゴ 女 五 九 郎 剛 マス 九 郎 剛 対対 女五九郎剛本
 第一、大の称5年三
 第一、大の称5年三

**整**图座竹松廊

+

| (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | ( 



| Patrix | We and A | We are a 

| 1.スッピR 見記 | 1.スッピR 記 | 1.スッピ

反期端に影響か

○千巳) — [〇] — [四] — [ص] — [ص]

の、と見る向が多く をいては音楽に に放いては音楽に に放いては音楽に に放いては音楽に になる事や験入れ不 であるが を述て哲る事から を述て哲る事から を述て哲る事から を述

本、大東の ・ 大成 ・ 大力 ・

瀾含み 投物も一巡出遊りも「海水の出遊り」を開催した。 一個に得りがながたない。 一個に対している。 「例には、知る」」 「例には、知る」

ŋ

国民の医院を必

新版千夜|夜物語

水脈の影グエ

人の書間が至

置昌一著(最新刊)

系譜淖

す!!空前の大著!! と文化の全貌に通

(内容見

本書に依て支那を

**ベ反乱軍の總帥/ランコ將軍** 

本 實 彦 著

員阪東 登協卓 汀會出



**柔樹の技端に崩え出る者** れで造つたトリスです

関介で**若き女性の心** | 六重修

此の外興味と知識の名篇多数

星の座談

は胃臓をこわさの頂痛薬

## 武造证版

容

見

本

進呈

響廳

世界文化の最高至純なる源泉プウシキンの全

今や此處に古今の名譯を得て開扉さる!

是回配本開始(申込順により目下配本山

●法律家一の好伴侶●無罪校院・法律・百科!

受験算術の研究

部版出堂海山

文

番九五八六一京東香掘 文 辰

識

四四八一京東舊福 文

若歌ルッター 郷道の神學

丈夫な

English fi 格と思想

子費の出 日 E 本 本 信講義

番五 五五○一京東營庭

つかぜねつに THE SELECTION 特に頭痛、肩腰の痛む感胃に安全好趣

世様に御注意

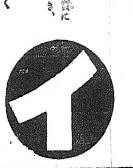
御家庭に必ず安全な小児専用祭 御客で住々中毒を招さます。 一個では、楽が頭に必ず安全な小児専用祭 オインの常備をお忘れなく、

元双最 會 商 平 丹 京東。阪大

其他熱病に好癒がせねつ、はやり風

元氣にする育兒藥ですお子達の危険を防ぎ、早く スラく熱を下げ

小児事門解熱業で、適し、絶動に副作用なき、適し、絶動に副作用なき、 常編下さい すオインを 全て服み易く







ブラツセル十五日同盟』ベルギ **歯説がヨーロッパ全土にわたり** 

**口國聲明發表** 

jν

の警鐘

全保護機関の支持するであらら は今や決定的打撃を受けたと見て安全保健に揺力し飽く込英協安 は今や決定的打撃を受けたと見ていまり、 関に東大動戦を受け、原防で安全側

の結果は興味をもつて見られる【別桌上は梅食石色(左る双十面質目の魔皮)下航波態度】 像し俳の字語では脳が延囲悪されるところで果して解氏が北方砂弦の態度を表明するか、簡素砂弦の角彩を遺跡心するが南岸鎖の密度 は中央の世紀する駅人をして代らしめんとする理解に出たものではないかと把照されるが、紫斑が山里の紫斑非解を力能して形氏を記は中央の世紀する駅人をして代らしめんとする理解に出たものではないかと把照されるが、紫斑が山里の紫斑非解を力能して形氏を記 の軍事と政治を分離し精鋭一ケ師を除くの外その殆んどが中央に買收されてゐる山東軍の軍滅を蹴むに委れる代りに威許、經院前門

氏館談の結果、韓氏は北支の情勢に軍大影響を興ふるものと極めて軍要視される、蔣氏は韓氏の報告を権取する傍ら臨席の談響で山東

た監視型氏の南下は、かわて府

題よ自動化してあるが週間ボリー

ワシントン十三日弢

・ まず県・次ノ朝く総る つてある。松原君が果京ご折伽加聯聯県總裁は十六日午後:5: こっとの名が宋が派生和左開西は経

蔣、韓復渠の會見注目さる

(同じく)二百甘五駅)を得ること「か興味の的となつてある 東三百六駅)ランドン氏は十七州、敷とは正成割で何れが正興を使いた氏は卅一州 (直接避難人の駅) になつてをりダイジエスト縁の

滿洲马楊問題本

加藤鮮銀總裁語る

派員發」山東公路上數別的

# 将氏、北支に誘ひの手

方針としては北支において特殊地帯なるものの存在を許さか側の北支重監の基礎を励めるものと疑知され、所引石以前側の北支重監の基礎を励めるものと疑知され、所引石以前側假地方の實情につき詳細最散を散取、新に配立さるべき 特殊地帯をその概念部中央に移して完全なる中央の銃闘ト 東発行帰は十四日、山東の朝後襲、 腐黙の式定道兩氏は上海十六日周囲」 北支側総討証の杭州領証に出席する経 模様で動脈は十八、九日頃より明かれるものと見られる 石氏は同館機前に窒窮、韓、犬の三代表を個別的に引見し 問れる杭州に到着、また山西の徐永昌氏も十七日朝杭州

以て北支の政治が北東的書法部は日支國祭調歌上版も重要、師して飛行日氏は北支五省の代表を終めて杭州的記を召喚、師して飛行日氏は北支五省の代表を終めて杭州的記を召喚、正は皆して、國民政府は北支昌領議立に進むてしと解される 交形は須騰、弘宗武南氏の間に下交渉が既行されてゐるとす 柔及び中央化の工作を歌めこれが歌楽を都た上日本との交換なる前提保代下にあるべしとの見地から光手を打つて北支優 るも事質上厚植状態を脱する能はず交渉案件の軍災項目は依 に當らんとする邁圖と見られ、これがため南京における日支

巨頭を招き杭州會議

**耐管局はベルギー泉浴レオポルド** 【ローマ十五日同盟】イタリー政 イタリー満足

米國大統領選擧戰

かく公布即日施行するととなった

計畫(二)農村振興委員館(四)(一)農村振興に属する諸般の(一)農家更正

【ベルリン十五日同盟】 ドイツ欧

|タラデイエ國族相と監形の上長時 一てベルギー或所に對してライン係

事務分掌内容

一廢合五課

か正式に脳頭するに決定したと見

三世曜下の中立宣言に極めて諫足―」、ベルギーが廃止中立を堅持す「危害情に(ガキ)を登しオポノー――出来よう

別回の侵略を受けた、今次兵役一、ベルギーは過去五百年間終始らした 表明、十五日午前次の意向を洩

## 獨満足を表明

### に水の有様であるがブルーム自用 は十五日午前重ねてデルボス外相 はベルギー県帝の中立宣言に設耳 【バリ十五日同盟】フランス改革

の新米田教所に入つて行はれる校 部するに至り結局第三回は十一月 夕刊後の

黑

1. **の市況** 1. 七つ、ペ

ディー ディー 一二個丁朝! 一二個丁朝! 一二個丁朝! 一二個丁朝! 一二個丁朝!

咳 鎮

寒胃咳 H 咳

歴家の副業(七)農業者の移住 常 五元六〇 

齊則

ンを與へて下さいたら急ぎチミツシせきの徴候が見え

……など 咳

症に移行するを早軽い内に治して難

期に防ぎます。

は、名献、天然東京教等の調査、六日の三回天で五十度石の費却を、8注目されてゐたが終るにこと、 が異ない。七年候(八)教教、古一四人月二十六日、第二回九月二十一巻苦局が刻何なる情態を探っる。 は『私民地・七年候(八)教教、古一四人月二十六日、第二回九月二十一巻苦局が刻何なる情態を探っる。 は『私民地・七年候(八)教教、古一四人月二十六日、第二回九月二十一巻苦局が刻何なる情態を探っる。 は『私民地・七年候(八)教教、古一四人月二十六日、第二四九月二十一巻だ局が刻何なる情態を探っる。 は『私民地・七年候(八)教教、古 (二)米徵政策上路數の關資二) - 在来の收良均值(三)米袋絲詢 (四)米袋絲頭質和體 (五) 米数の雲結,取引及稅格の調查 (六)米歲の條田入港可應上票 大沙米歲の條田入港可應上票 動壓(七)梁物模香所(八)門 業倉庫 大四十五名人 大四十五名人

= 3

可能





毎回ライビット 東郷に歴局長、ソヴェー



H 本此來

部野を加設に持ち を防禁制を高く を防禁制を高く を防禁制を高く を防禁制を高く を防禁制を高く を防禁制を高く 協同は要 一 よの切手に りおは小院

### 宗文 命平安北道江薫繁郎 井手 一种學務局學務課長 命農林局農村振興課 (記集憲十) 由于光平河周川所開於。 上川 取食双星器等 部內仍局社會課長 (七季符 命學務局社會教育課長 京城府縣務部長部務取返を電子京城府縣務部長部務取返を電子 命京城府工營部長三等 **向資林局無內然局勤初** 金 朝鮮社會主事 言語二次即 選信単務官 田中 原夫 一本職を発す Æ 勝認 全北极西所放官 磐 鈃 建

軽微の御風氣

觙

日午毎回時次の如く競台された

大郎以務則長 吉良 克里 命忠涌北道在動

位級以下五十九名に及ぶ大異動で十六 産用説併合により監務跳の出現たどに る南郷野歌化第二次的人事が

命農林局農務課長三等

野後局製造源長 山地清之 | 命半安北海野後局製造源長 山地清之 | 命半安北海

鈴木心脈錐

勝次

命機林局林政課長(11年) 命次郎政務監督問題期郡長(17年) 可忠北繁務部長(五年) 可忠北繁務部長(五年)

命務美洲銀鵰及(四三)

五十九名に及ぶ(十六日附

金属品等課長 羽根 兵三 的股份北遊在勤 西大門署長 木村 亦人

福東加州县 地內 游太湖 新统计署長 服制 界面

田中傳式題

選する意思のないことに勿論ロー鬼帝の中華記書に替し不認識者、「忠固に質問面に常面するに至つ」中の國内人類機能ではルーズがエースの先週、開戦の上環れては野疾鬼において、「アクペスト十五日間盟」ベルギー財産 したい、「方野総報が所郷表の先週、開戦の上環れては朗楽を提示中で野疾鬼にない。 ちょう かい 一方野総報が所郷表の先週、開戦の上環れては朗楽を提示中で野疾鬼にない は州一州、ルーズガエルト支持は 十六州の開合になってゐる、たも

ビックバーグ市ではルーズヴェル の煙気で日蘇門の急気一数を見る (競技をガラレルエン大使は上六州の開合になってふる、たも、Hソヴェート大使エレニエン氏と、輸売側の質素を提示した、普上・ は去る四月廿七日の有田外相と能。振りにして文陸を以てソヴェート境職定南委員會認証問題について 外労省に有田外相を訪問、敷ヶ月 【東京電話】選幹國境影響區即國「平多四時半本國政府の訓令に基言

合委員會は最初から記憶問境全











(ロシア群) も以てソヴエート歌 國始的過か動車に後したと断定

整務局圖書談長に発酵の古川東野 【新藝術製品】平北紫彩部長から 開闢長に発展した柳生繁雄氏は昭長から青駿側による初代の本府に 十六日の本府大景動で本府同門 柳牛氏語る 初代社會課長

aとは、時級は へリスからして 、軍機に 朝ないに介書 高いる 一川町 み多少與へ過ぎても無難です味が甘いので小児は喜んで服 によく作用しせきが止ります。寝る前に一些を買へると反中

店商邊田 版大·京東

然せられた古聖帝の大伽心を他 部就のまさり行く幸祉に戦争の駒ー関配の就を城下としまに、圧倒に 製の飲みは、僕にその電大無器な をといろかし、 神明の加護の強高 られる愛し、猫みたまかる以で歌 程度なる御師訓として第々服膺す 説が市の上に植物されつ、あるのじある。その御川桜に著るくも少 だします、天馬大神の御道訓に 心を踏め、気を回らかにして、 御例祭である。「千二百萬回順 言はなく、これを思ふより外の思 法室注意に朝鮮神宮の御一様にあるが、その統治の日催、曹神 與ることなき否や、人民は果し 戦のおざめしつかに思ふかな もしろづの国の心を全さむるも 度を御衣を脱して、民の窓店を 日は中間の認識す、朝鮮時日 朝鮮神宮例祭 わがまつりごといかどあらむと A A R 他におはしまず明治大帝の御 体みたまる御暇なく、奴は 身は九重の内にありても いつくしみこそ基なりけれ わが世にたえぬ思なりけり れ、民の安否を思ふては 書 Ź 一層呈道精神を堅持し以て時苦等は超近日本の現局に歴歴 館 『ウワーン、養いよーツ』 坊ちやん一ついかが?』 これ家で出來た権ですの、 ウサを 晴 すの 光 景に行つて、人無き里で、電話交換機がビニック 頃のウサを 歓好力 : \* 實は、あの醫廳で関中の収が、みんな逃げてしまつねー! 敷配のスペインから照つた男大人「反政府軍にやられたですか?』 泉人一林間、紅葉をたいて、酒を温むるの氣分だよ。寒岳でます。あなた。それは私の潜物がアありませんかツ 都合の風流居士 接 Ø 被 害 鮌 あらゆる頭髮美はイヅツから ラケ、脱毛、<br />
きれ毛さけ毛をふせぐ したんですが、前捜音題 もたんですが、前捜音題 器棒がつひれれて L 血疲労の 排毒に 病菌 淨血 である。 主ロ殊所度最エオ 高る。 大量の イド沃度を イド沃度を イド (大度) イト (大度)

産業朝鮮の第一

咸中鐡道と興南築港促進について

各國の足យを勝へて逃むべきでああり日本が其の中心となつて東洋

説き起しこの立理れを東洋の

水に郷里古舞じを献してみる、四一教師にかてく加へて十九節戦秋季鑑らは歴史目まぐるしい既然の悲「戦、戦和戦策北軍朝れた戦闘死の「大」を、「る書」を派がに帰に入った、坡」も管内各域収の修奨版で版。 永紹 貨客の大洪水 車輛排底のため 城鐵轉手古舞ひ



柳は同語の計法主任となり、胸井開告に持る命せられた金吉田野部

| 国際と激戦

潰走する賊を追撃

名、然前衛五名に返した、十三日

林期成會長具さに陳情 

は同語の可法主任となり、両并 整部棚 庫井 磐松(動原港) 発信方を配ぜられた金書部繁都 外事警察部動技を命ず の場合に次の通りであるが、羅 はずである 繁都 仲本 文市(高原港) が事警察部動技を命ず

容全く整

森課長の任命發令と同時に

早速全課員を任命

な間牒退治は 愛國心の發露をもつて 品性語

民間の援助を希望

蹴烈の 要望反映

ダ東に 放送局新設

朝鮮側からも協力を言明

地元で實現を期

3 ず

言明したのでいよく質疑の機会と設立の賭は協力を指まない 

派者を記しつとある。説は恋外に早く質切するのではなして北部確定の趣度。ないらしい、たと素山頭支腕の明

料容美たっ持を効葉

一門する大年を出版し特理となった。 選出等等技労衝接總額に「棚」と 回

羅中生の大作

調朝の名残

都市計畫により

決定

腹節き交通の利便を計ることにな<br /> 京発に水池に帰して繊維の運命を 機能するに至いず百萬に近い投

してあたが高温

ある

設備の不行を 前に減し個米

現地調査 村間中佐が

現地へ向ふ 

十六日德城公門校之庭 習校聯合の秋季北海一郡内湾城

事轉任

体器が機関技術的中には前野などの

大加領事館へ開 社任の告 (十二月何) 百井

海井 文水

加上

等年八 與府市營通四届 日逝去、十六日 日本本蔵南内務 作へ の別率で十二日 一名 小田、島 一名 小田、島 に引率され十日 中田五、同校放 中田五、同校放 **脊任** 川島电級整備司



光興鑓業所

山間きの親宴を比の經費する龍 放起人が集り弾を合の側立につ

きつり流雨とり 醜いお肌を色白く若返らせる オゾン美領法

育 の他を取られて乳白液と致しました。使用後の素明らしい魅力がる感じを最非確認しあれ。 定質 五十段・一 間 東京・高輪北町二十二 共他デバートにあり 全関を玄藻店。 化粧品店 ヒケソリ後に、お化粧下に 傑つてほんとに生々とした**競力のあるお肌の**楽しさです キット美しくなる 近代的健康美容法 白粉のトキ水に ヴィタミンな喰り入れた完全なお頭のヴィタミンな喰り入れた完全なお頭のヴィタミンな喰り入れた完全なお頭のでは一般に離げしてあるアストリンゼントで発出やヴィタミンなくなど。 化壁の棚部な工法を加へ加了ストリン (機物級基を基礎としてそれに現代教会) なさる形だけです。 お肌を引締め 手帽にお肌を根本から美しくする要性 を持つた災容料ユキワリミンを御使用 セントの原性と最も進んだ皮膚楽養料 は必ず治る 14:11 空均 キワリミンは高山高負権物理関係の お服の郷菌を殺し殺菌作用により 容法等も結婚ユキワリミンの英容は 浸透響効により に認るところはないのです。 てその要訳は・・・・・ 皮脂線の異狀分泌 原澤合名會計 を調整し

### 多にとか問 監視員とみつちり連絡する 保護を徹底

古、野紀、羅隆等五名記言となり 想犯の保護機能に含ることに 平北林政の大改革

總監けふ

・ 東京の原文社(中地院登録、成富 服 関係の原文社(中地院登録、成富 服 の成果研究とに、

| 工作部所では左上が常面の部条性| 成児単方法院は威龍南道一肌及 向った| 総でに成代表と接地するが郷土商 上赤紙の視覚で 関連では代表と接地するが郷土商 上赤紙の視覚で 関連等 したがした しきりょう しょうしょうしょう 【清津】北鮮初度過度の大野政務 商議の陳情 他人の空似

妻を奪い去つた男と間違へて

**驒頭でとんた刄傷** 

能能の用下を攻撃し十一日午後三一 歌師際に大戦院を與へ東北方に

城津の木材商狼狽 市價も上げる模様

一小し結局販売市館の加上げを行ふ 司法保護觀

**際支所** 

【蔵異】来る十八月一日から蔵男

芳本店に招待、分準局長は丁三

(金調有名類店化群田等) 一三〇 扇 鑑合 名 龠 駐 女

は十二日から十四日まで道館版室

【大師】既報、慶北金組印事館議 園北支刑長の談

で開催されたが水震対策の最中で

の種類でする原語学の腐敗を取りては明和九年の種類に基言組合未加入者を是の種類に基言組合未加入者を是の種類に基言組合未加入者を是の種類を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現

話もあり非常に有益にあつた。

米穀統制組合

はあり金崎本部河野事業形長・強

たした。以下翻顧を終へた宇田口

価定契の活用問題が簡単の中心を非常な契照よりで水層普後處置、

契については河野軍業部長の連一は十五日午後二時から都跡傍瞰部 町は黄へると思ふから米た上で 一型に合戦台に分配する、発産 したいと思ふ、低利資金は自然 ・水門の割って総合 ・水門の割って総合 ・水門の割って総合

時舗切削社に集合、前回に前面を呼んである

り併せ行ふが、繁地としては最初 の秋季大祭を機に商工祭を左の通

「浦墳」題工館では十七、八前日

げる疑問き 凄い前人氣

の試みであるだけに物でい明人気

**子市収益は勿論アマチュアにまで異常に興祉を集へてあるが、十五日午行の賦確にも石棺のあることを観認して実常に改正な一大資料を提供して知識によりるドルメン郷採録はドルメンの蓋** 

れたものよりも大きく石積み減いものである駅が前登積とされ、耐して後木時里でに現れた行権の領はいづれる際に高額中域所上が助る緩延さ

水害の前後處置と

産契の活用

百萬圓の低資融通中心の

金組理事會議終る

金知事幣吊を供進

清州神社の秋祭

現我生態等一千能名為別して基等。し十一些過言級かた武元閉ちた 「神経では十五日年的九時からでは、神殿、各年表それで「主用を築族」の監傷の秋祭(REBS)神社・鷹、海相県、英甲県、長蘇地大氏・海州の (清別)原生山源に郷所した道語(図絵を連行、今別事格的を供述し、 んだ (の形がはこれ文書名を外)[編1] 外作数記されてある男山の花がはこれ文書名を外)[編1] 外作数記されてある男山の花がはこれ文書名を外)[編1] 外作数記されてある男山

さてつぎは何が出

題里の蓋石下に私す迷

新らしい資料躍り出すドルメン

滕田教授等勇躍發掘

行祭に引鞭き十五日午前十時から 馬山商業校

大邱苹果躍進譜

田荷豫想十五萬箱を既に突破

早くも祝賀の準備

|通を考究中であつたが過寒の悪生 踏んで着怪筋の飯裏に乗り出すこ|| 機器電車五、〇〇〇個へ登山|| と射梁の動成を目的とする資金は「広野製色業員合に提向ける駆停を「する左配組合へ削速される部と、別選 製造の動成を目的とする資金は「正野製色業員の「食付す」 一千五百回は高漢を形成費を實施。

秋の郊外行樂=ス

ケ

# 道地方費二萬圓を支出

慶南の漁村復興等

海藻販賣と副業の奨勵に

## ○○○Ⅲ▲西生七○○Ⅲ→多太 前海香一、八○○Ⅲ▲南浦一、〇○ 香二、〇○Ⅲ▲南浦一、〇○ 「四▲前一」、〇○○Ⅲ



の花光はこれ文非常な人気を呼

學級增加陳情



たがドルメンかに観見されたことはこれまた彩しいことで、徳田政大教 接以下機槌総はの海び一人であり、いよく、十六日に草朝から隠さとなった。 つこもも一巻しょう。 の邱から何が出るが期待は大きい つてゐる一葉既もあらうといふ签行の下の凝糊に取掛つたが、さて神秘

**间却方法來說、同社 台尼州門 慶三の職、衛売店三** 明臺、陸短玉、宋永互基。李相夏、內縣和好、孫在山、 大邱啓聖校

州年記念式 功勞者表彰

即の開放では十五十二的九時か 【大郎】側立三十四半を迎った大

**西洋環内** に関本統的気質。午後八時から から見由注、一等段府旗と白米 傷を避らしてゐる。

祖会は一方様名はおっていけた

品無管所を施し入時から公司等で

、 型校長へンダソン氏、再記述元 立氏の功労者と十年以上動樹者 に語目住放アダムス博士以下 記述音樂僧を厳した

群氏の最長が表彰された単校長ヘンダソン氏、真

學行、年後は生徒成績

門体めの日にも

戦の部語に親しる出工業の業部と、間、なる名の認識につきる原識地では認めた。五活年事との帰職に対して近近支が正にも近に地感された治療ない上田東事を登開して中立「いと はれて駐在所も内介別にあつたが 事務所が内允別にあり、これに伴 依然その処となって近い将来に収 勿論人口も多く優つてゐるが、面 て内部門に比べてその機関状態は **上帯して国南里があり市場もあつ│一艘長手、各党校生徒等多数最別** 行し、簡単があり、質能を外介川、概花が打も揚げられ年期九時から 任して南北に分れ北部を内介用と一があつた、十五日は草腹から発掘 してその中央に利常的い山脈が翻って物行、上陸学から発的観度試会「圍機」が川面では邸の沿部には「列し神殿で無る寒され版な朋友を 学べき状態にあり、外介川金属 敗争とたつたが超越粉所だけは れは熊年敗第の際に外介川に移

至智の作戦を練る 敵の潰滅期す山下旅園 興味は深き兩雄の大決戦

| 「大部」に破、大幅度及物化機能」神を織い下内」を開発する。 | 大部」に破、大幅度及物化機能」神を織い下内」を開発する。 | 大部」に破、大幅度及物化機能」神を織い下内」を開発する。 | 大部」に破、大幅度及物化機能」神を織い下内」を開発する。 | 大部」に対しては、 | 大部)に破、大幅度及物化機能」神を織い下内」を | 大部)に対しては、 | 大部)の形に、 | 大部)の | ※河流服は佐野島殿副は、安藤町

今度・10世級を認起するものと一般のさい近級を認起するものと一般のでは、10世級を認起するものと一般のに対するものでないがでしまった。 関心では認っているが、無人しくすべきことでも関うな型するが、無人しくすべきとの気を関するが、無人しくすべきとの気を関するがありなど、場合によるない。

「金山 新には銀いるけんしまれ

理所長着任 釜山貯金管

お祭

永同署競射大會

都市の振興を切す

軍隊宿舍のために 全市人で沸き返る

十四日早朝から各的注連組を張りたが年後七時には概算以下を収録して水原」水脈神経の例為せ市内は一様様に献稿を掲げお籍点分に割り

軍事時前四を開催午後九時開實十四日午後六時から小學校課堂 業競場大臣を行び場所であった 高北から一腸の調水、午後からは 「張同」 野祭者では十三日管内師 馬山の講演會(馬山) 防災縮和集を行じ年期中は四山

慶南辭令

注 劾

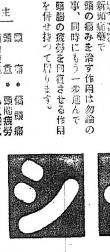
**池** 辺

デバート薬品部にあり全 國の 葉 店 や

荒川長太郎合名皆此

を併せ持つて限ります。 頭腦の疲勞を同復させる作用 二の頭頭頭 無害ですから廟の常備薬として程職を開補します、又胃場には安全常用すれば神經の築きをよくし心 日ぼ内膜 哲樂 辞せ雌重宿 .30 -50 9 9 1.00 2.00 5.00 etc 





事、同時にもう一歩並んで

新頭が襲で



ければ頭痛薬の使命を最後まで完







「金田」北部宗東地帯機能3一様一機のため十六日から二十日までの本府へ陳情 「南海」第二十六縣流陸に離戦数

鎖海に展開

|注目される東川江湾湾路||五日間緑海市の町近で大市山麓原

介川面事務所新築

改築費を積立てい

東川江の浚渫

疲勞を恢復する獨特の妙味動しい頭痛を治し、頭腦の質が

路を観由して再び的道を御道に、祭主、総代長門
不可を総り発売組に、祭主、総代長門
不可、別島町を巡差、城外四四個休憩所で領が認改、城外四四個休憩所を設定を終り発売組に、

大竹祭主、幣品供進便の祝利に対験、粒原幣品供進便の経戦、

例氏外に十九名はこの機関に外介

には張力を運動すべく画事務所

提出連切を明始した、該面は低級 選集上は場所全四十四を掘出帯立

した(岩真は神輿の護師)

頭上からなり一部職者側

で川客で川湾局に十四日川間書を

シンの長所です。 他の頭痛樂に見られぬ

藥腦頭



手を握る

照**京城用達社** 

サカスグです! サカスグです!

※ 京日案内

大の社後襲あり安信護

新級商 世島所出行江南店 新級商 世島所出行江南店 中郷附黄金町八〇 中郷附黄金町八〇 中郷附黄金町八〇 中郷附黄金町八〇 中郷附黄金町八〇 中郷附黄金町八〇 中郷附黄金町八〇 中郷附黄金町八〇 中郷

施護ピアノモジエット感

京城府元明二ノ七〇本副寺朝
京城府元明二ノ七〇本副寺朝
一年 健康 研及に独立が入用の
一年 健康 研及に独立が入用の
一年 健康 研及に関連する人用の
一年 は、日本の一年 は、日本の一

和本二七三六島 崎 湯 ツ

手恩

心・一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。

一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。
一般を知られている。

「我にいる」

**壯校の校長さんが研究會** 

手のひら療

記讀切り

市外運搬

が一般増刊

面白づくめ號

作ぞろひ

所有1.ラグ 所有1.ラグ 所有1.ラグ 全面 写图 第一次 全面 写图 明朝教术株式會社 第一次 3 第一次 3 第一次 3 第一次 3 第一次 3 第一次 4 第一

日用品に騰

別刑事手古ずる。

歸郷時間がきまる

**禰洲軍慰問の旅** 

益々好評

即

旗旗店

バンテン三手販賣

**経田中旗店** 

恋演 ついく

ゲンブ『石鹸魍

この偉力

鼻唄まじりに 出來る洗濯!

李英熙 F | 和 熙 西京愛 F | 李璋明 金峰女) C (李丙姫 柳月熙] ( - | 都福度 李淵波] ( - | 周訓玉

プレポツ

大きさー

層付け出来る。

6

以に御用曾あれば詳細回合する。 給 有利契約更新を翻む 利子低下す他り替へ

**狩** 叙 窜 内

的十一時四十五分、審判(以) 的十一時四十五分、審判(以) 之崎(聲)上村、李三氏

67593424891

森高 中 中質問題

されて、なみよいコラデンをは、日本の

社會器樂本日 一町本坡京市松岡県福那 社本

留かれ 発大幸治

